

平成  
30年

# 新年のごあいさつ



長久手市長

高田 一孝

明けましておめでとうございます。

健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は、市民主体のまちづくりを支える大きな柱となる、総合計画(愛称:ながくて未来図)づくりが大詰めを迎えます。総合計画は、人口減少により社会が大きく変わる30年後を見据えて、10年後の市をどのようにしたいのか未来を描き、まちづくりを進める道しるべとなります。

これまでの市の計画づくりでは、行政が案を作ってから説明会を開催し、意見募集を行うといった形での市民参加でした。今回の総合計画は、案を作成するところからみなさんにご参加いただき、途中経過をお知らせし、ご意見をいただきながら多くの時間をかけてみなさんと共に一から作りあげる、市民主体の計画に取り組んでいます。今後もみなさんと話し合う場を設けていきますので、大勢の方にご参加いただきたいと思います。

また、10月18日・19日には、「地域共生社会推進全国サミット(仮称)」を開催します。全国から多くの方が本市に集まって、これからの「地域共生社会」をどのように進めるのか、話し合い交流していく場を作り上げたいと考えています。

超高齢・人口減少社会においては、わずらわしくても市民同士が支え合う、まちづくりが必要になります。総合計画策定を始めとする、市の各種取り組みに、「我が事」として積極的にご参加いただければ幸いです。

年頭にあたり、みなさまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。



長久手市議会議長

加藤 和男

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、一昨年と続けてリニモ駅に隣接して大型商業施設が開業し、まちに新たな賑わいが生まれました。長久手市が支援するリニモの乗客も増え歓迎する一方で、渋滞対策が課題となりました。

昨年8月に碧南市で行われた愛知県消防操法大会では、岩作分団がポンプ車の部5位に入賞し、訓練の成果を存分に発揮され頼もしく思いました。また、9月にはキッズ消防団が結成され、子どもたちが防火・防災について学ぶ貴重な機会であると共に将来の地域防災を担う人材育成につながると期待しています。

近年、大規模な地震や集中豪雨に伴う土砂災害や水害など多くの自然災害が各地で発生していますが、住民同士で助け合う姿に地域の絆を実感するところです。そのような報道に接するにつれ、消防団は地域と最も密接な関係を持ち、とても心強い存在だと思えます。

長久手市議会では議会基本条例にのっとり、議会は持てる機能を駆使し、議員間の自由闊達な議論を通して施策のさまざまな課題を市民に明らかにし、積極的な情報の公開に努め市民に開かれた議会を目指しています。

どうぞ本年も市議会に対しご理解を賜り、ご指導いただきますようお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

※近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください

長久手市地域見守り安心ほっとライン

0561-63-5556

24時間  
365日受付



## 表紙の写真もう一枚

西小学校区まちづくり協議会主催で、地域での新しい交流の場として「まち協フェスティバル」が開催されました。コーラス団体「フライデーコーラス」の発表では、子どもが混じっての演奏が行われ、暖かい雰囲気にもまれていました。



スマートフォンで広報ながくてを持ち歩きよう!

App Store

Google Play

「マチイロ」で検索  
▶ダウンロード

